

平成 29 年度ノリ養殖概況

石黒貴裕*¹・林 浩志*²

養殖環境 養殖期間中の岡山市における降水量の推移を図 1 に示した。10 月の降水量は台風 21, 22 号の接近により平年と比べてかなり多かったが, 11, 12 月は高気圧に覆われた日が多く, 平年と比べて少なかった。1 月は平年並み, 2 月は概ね高気圧に覆われたため平年と比べて少なかったが, 3 月中旬から下旬にかけて低気圧の影響でまとまった降雨があり, 平年と比べてかなり多かった。

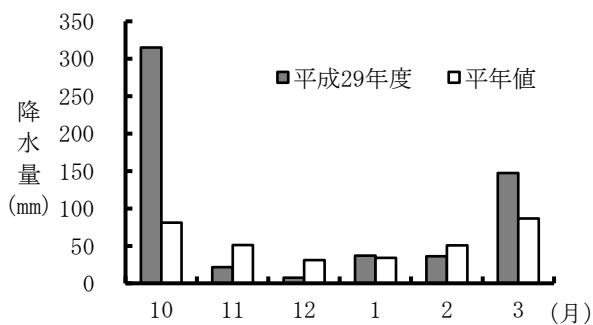


図 1 平成 29 年度漁期の月別降水量の推移 (岡山地方気象台)

牛窓沖水深 2m 層における日平均水温の推移を図 2 に示した。11 月下旬から徐々に平年値を下回り, 12 月から翌年 2 月にかけて平年値を 1℃以上下回る日が多く見られた。3 月になると平年値との差は 0.5℃未満となった。

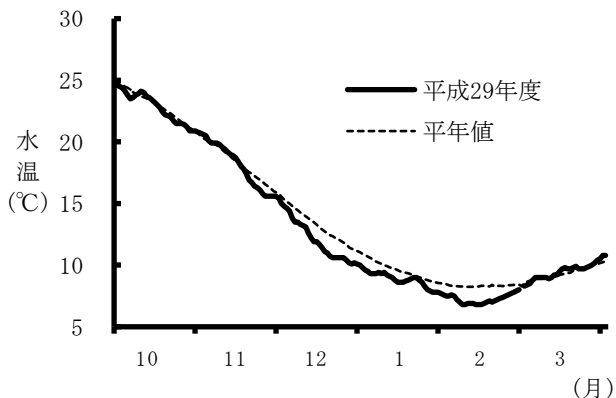


図 2 平成 29 年度漁期の瀬戸内市牛窓地先における日平均水温の推移 (水深 2m 層)

養殖期間中の県下のノリ養殖漁場全 38 定点における平均溶存態無機窒素濃度の推移を図 3 に示した。降雨の影響で 10 月下旬に 16 μM を超え, 11 月下旬まで 10 μM 以上で維持した。その後, 急激に減少し, 12 月下旬に 2 μM を下回り, 3 月上旬まで 3 μM を下回った。

大型珪藻である *Coscinodiscus* 属の増殖は特に見られなかったが, *Eucampia* 属は 1 月下旬以降, 県西部を中心に 40 万 cells/L を超えた点が見られた。

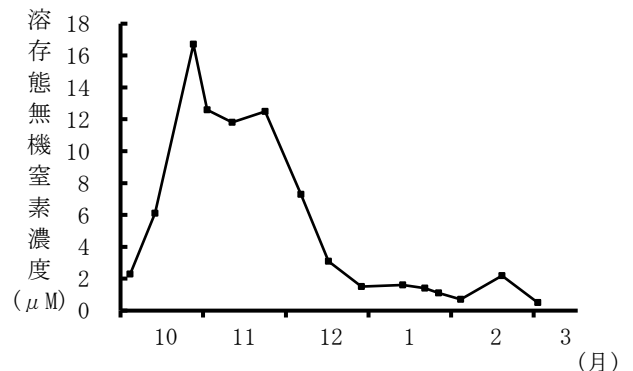


図 3 平成 29 年度漁期のノリ養殖漁場における溶存態無機窒素濃度の推移 (38 定点の平均値)

養殖経過 海水温は, 10 月 19 日に牛窓地先で育苗開始の目安となる 23℃を下回った。しかし, 22 日に接近した台風 21 号の影響により, 多くの漁場で育苗開始が 26 日頃まで遅れたほか, 犬島周辺では, さらに 29 日に接近した台風 22 号の影響で 31 日頃まで遅れた。

本張りは, 11 月 20 日頃から順次開始された。犬島周辺では主にカモ類, 水島周辺および笠岡地区ではクロダイ *Acanthopagrus schlegelii* によると考えられる食害が激しく, バリカン症様となる網が見られた。

生産は, 笠岡地区で 11 月下旬, その他の地区では 12 月中旬頃から開始された。水島周辺の漁場では色は良く高品質なノリが生産された。犬島周辺の一部では当初, 原藻が製造中に細胞破裂したクモリ系統の乾海苔が多く生産され, また生育不良のため網の交換や撤去を余儀なくされる業者もあった。

12 月下旬になると笠岡地区を中心に色落ちが見られ, 翌 1 月には県全域に被害が拡大した。一方, 犬島周辺

*¹ 岡山県環境文化部環境管理課

*² 岡山県農林水産総合センター普及連携部普及推進課

で見られたクモリは回復した。また、水温低下に伴い食害は減少し、葉体が順調に伸長した。

1 月中旬には日合計 10mm 以上の降雨があり、県全域で色が若干回復したものの、2 月上旬には再び色落ちしたため、2 月下旬までに高梁川以西の漁場は生産を終了した。その他の漁場は、概ね 3 月中旬から下旬まで生産が行われた。

生産結果 高梁川以西の漁場で例年より早く生産が終了したことや、犬島周辺の一部で見られたクモリや生育不良等により、生産枚数は昨年度を若干下回る約 1.9 億枚（前年度比 91.7%）となった。平均単価は、昨年度に引き続き、全国的な品不足のため、9.73 円（前年度差-1.55 円）と高水準となった。生産金額は 18.7 億円（前年度比 79.1%）と前年を下回った。